

令和7年度

工 事 設 計 書

事 業 名 しっかり守る農林基盤交付金事業

工 事 名 しっかり守る農林基盤交付金事業(大山1工区)工事

工 事 場 所 西伯郡大山町鋺戸外

令和 7 年度

工 事 仕 様 書

第 1 総 則

本工事の仕様書に当り、その優先順位を次のとおりにする。

- 1) 特別仕様書（下記のとおり）
- 2) 設計図書
- 3) 鳥取県土木工事共通仕様書（令和 7 年 4 月改定版）
- 4) 農林水産省農村振興局制定「土木工事等共通仕様書」

第 2 特別仕様書

1) 工 事 概 要

工 事 名 しっかり守る農林基盤交付金事業(大山Ⅰ工区) 工事

工 事 場 所 西伯郡 大山町鉾戸外

工 事 内 容 ※工事内容は、別紙参照

2) 工事完成の期限

令和 8 年 1 月 31 日

3) 水準点及び基準線

標高の基準は、指定した K B M による。

4) 仕様書の削除

本工事に該当のない事項は、削除するものとする。

5) 用地及び附帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地及びこれに伴う費用、附帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

6) 工 事 施 工

(1) 施 工 管 理

- 1) 鳥取県土木部制定「土木工事施工管理基準」
- 2) 農林水産省農村振興局制定「土木工事施工管理基準」

(2) 施 工 要 点

1. 工事中諸施設を破損した場合は、関係者及び関係機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し監督員に速やかに報告すること。
この場合、監督員の確認が必要である。
2. 工事施工に伴う立ち木、水道等の撤去・移設については、監督員の指示により施工しなければならない。
3. 工事中の打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。打合せ簿に記載されない事項については、変更の対象としない場合がある。
4. 工事施行についてその期間中所定の様式に伴い、日報を提出しなければならない。
5. 請負者の施工する任意仮設は、この工事に十分な規模で労働基準法、その他関係諸法規に基づくものでなければならない。

(3) 安 全 管 理

- 1) 労働安全衛生法等諸法規を厳守し、工事の安全と円滑な進捗を図ること。

1. 歩行者及び通行車両等の安全を図るとともに、工事中における作業員の安全を確保すること。
2. 掘削作業・土留め作業等工事の安全を図るとともに、建設機械の能力・使用目的を十分に把握し、用途外使用等を行わないこと。
3. 安全計画を立てるとともに組織編成を行い、労働安全衛生に努めること。
4. 労働安全衛生法第59条、第60条及び第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事現場に即した安全・訓練等を、全ての作業員を対象に月当り半日以上時間を割り当てて実施するものとする。

尚、安全・訓練等の実施については「鳥取県土木工事共通仕様書」1-1-6 施工計画、「安全管理」に実施項目を記載し監督員に提出するものとする。
又、請負者は工事完成検査等が安全に実施出来るよう、必要な処置を講じなければならない。

7) 暗渠排水・法下湧水処理

(i) 使用材料 (暗渠排水・法下湧水処理)

本工事に使用する主な資材の規格はつぎのとおりである。

資 材 名	規 格 寸 法	使用箇所	備 考
吸 水 管	焼き締め土管 φ 75	吸水渠用 湧水管用	
排 水 管	VU φ 75	集水渠用 排水管用	耕作面内
吐 出 管	VU φ 75	排水管用	耕作面外
被 覆 材	単粒度碎石3号 S-40	吸水渠被覆用	
疎 水 材	単粒度碎石3号 S-40	吸水渠疎水用	

被覆材は極力ダスト成分を除外して使用すること

工事材料の品質規格が明らかでない場合は監督員の指示を受けなければならない。また指定しない材料の使用に当っては監督員の承認を受けなければならない。この場合監督員が指示する品質規格、各種試験表等の関係書類は遅滞なく提出しなければならない。

(ii) 施 工 手 順 (暗渠排水・法下湧水処理)

原則として次の順序による

位置(渠線)の設定→資材配置→堀 削→布 設→被覆材巻立→埋戻し→
排水口の施工→完了

(iii) 工 事 用 機 械 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 工程表の提出に当っては、堀削機(バックホウ等)の台数・能力等、工程表の作成根拠を提出しなければならない。
- (2) 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した機械はその指示に従い直ちに搬入しなければならない。
- (3) 機械の搬入後は監督員の承認を受けてからでなければ搬出してはならない。

(iv) 工 事 施 工 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 工事期間中に監督員の行なう各種検査、及び試験についてはよりよき工事を行なうため特に協力しなければならない。

- (2) 各工事の写真は共通仕様書に準拠するが暗渠排水管・湧水処理管については上・下流の堀削深が判り、なお被覆材の厚さ、幅が判明するよう撮影する。その他堀削、配管布設、被覆材敷均し、埋戻し等の各作業工程が判別できるよう名称、測点、寸法を附記して撮影する。
- (3) 暗渠排水管、湧水処理管、排水管、吐出管、水甲の位置は図示のとおりであるがあらかじめ監督員の指示をうけなければならない。

(v) 堀 削 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 堀削に先だち田面がたん水もしくは湿田化した場合には、仮排水路等を必要に応じて施工し水抜きを行って施工条件を良好にし、堀削溝内に流入することのないように配慮すること。
- (2) 堀削は各線共に下流から始め順次上流に向うものとする。
- (3) 堀削は表土と心土を可能な限り別々に置土し、その混合は極力防止すると共に計画高、計画勾配に不陸のないよう入念に仕上げをすること。
- (4) 用水路、排水路を横断堀削する所は施設を損傷させないように人力施工すること。
- (5) 堀削の進行につれて堀削深さ、勾配をチェックする、過掘りした場合は監督員の指示によって埋戻すこと。泥土等で埋戻してはならない。
- (6) 浸入水のある箇所では堀削溝に貯溜しないよう処置しなければならない。

(vi) 敷 設 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 管の敷設は一筆水田の堀削完了後監督員の承認を得た後でなければならない。
- (2) 吸水管の堀削溝に泥水が溜っている状態でこれを敷設してはならない。
- (3) 吸水管、集水管の敷設は堀削と反対に上流より始めなければならない。
- (4) 管の切断は目の小さい鋸で行ない、接合は充分に差し込み完全に固定しなければならない。
- (5) 吸水管の上流端にはキャップを使用すること。
- (6) 水閘の取付位置は畦畔あるいは溝畔とするが止むを得ず他に取り付ける場合は監督員の指示に従わなければならない。
- (7) 管、水閘の敷設に当っては土砂が管内に入らないよう充分に注意しなければならない。もし管内に入った場合にはこれを完全に排除してから敷設すること。
- (8) 水閘は吐出管に接合し、同時に埋設すること。

(vii) 吸水管径の変更 (暗渠排水・法下湧水処理)

堀削後、予想以上の滲出水があり設計管径では不足と認められた場合は、監督員の指示により管径を変更することがある。

(viii) 埋 戻 し (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 吸水管の埋戻しは水田一筆の管敷設が完了した後、最初に被覆材を持って行なうが、この場合管が移動しないよう丁寧に行い、充分締固め均等に均さなければならない。
- (2) 一次埋戻しは人力で、二次埋戻しは機械で行うが、充分締固めを行ない旧地盤と密着するよう完全に行なわなければならない。
- (3) 吐出管は管、水閘設置後直ちに 20 cm 以上埋戻し、管の浮上及び移動を防止すること。
- (4) 埋戻しは管の亀裂、ひび割れ、管のジョイント（接合部）がゆるんだりはずれたりしないよう充分注意し、もしこのような事が生じた場合には再施工しなければならない。

- (5) 埋戻しは心土、表土を可能な限り区別して、各層毎に埋戻し、最後は表土を持って仕上げを行なう。表土の埋戻しは耕作に支障となる石レキ、木片等の雑物を混入させてはならない。
又掘削及び管敷設の終わった所は、その日の内に人力で埋戻しを行なう。
- (6) 吐出口部は特に入念に埋戻し充分に突き固めて法面仕上を行ない、排水路の流水又は、水田のたん水によって崩壊しないようにすること。
- (7) 埋戻しが完了した場合は、田面の石レキ等一切の障害物を取り除き、監督員の検査を受けなければならない。
- (8) 石レキ除去等については施工状況を把握し変更対応とする。
- (9) 石が出た場合は、監督員と協議により、適切な処分を行う。

(ix) そ の 他 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 管埋設深は各筆毎に指定された掘削深、勾配で敷設すること。
- (2) 工事に必要な材料置場、仮設道水路等の一切の用地及びこれに附帯する工事等は、全て請負者の負担において処置しなければならない。
- (3) 既設道路を資材運搬等に使用する場合、損傷しないように注意し、もし損傷させた場合は原状どおり請負者の負担において補修しなければならない。
- (4) 地区外の耕地、宅地への立入りは極力避け、もし立入り使用のときは請負者の責により措置すること。

8) 水路工

(i) 施工要点

1. 水路の底面及び側面は、掘りすぎないように施工すること。特に機械施工の場合は注意すること。
2. コンクリート二次製品の護岸及び水路は出来上りが不揃いにならないよう注意し、滑脱、沈下等の恐れを生じた場合は監督職員の指示を受け適切な処置を取らなければならない。
3. コンクリート二次製品は、検収後、据え付けるものとするが、破損のないよう注意し、施工しなければならない。
4. フリューム等の埋戻しは、一時に埋戻しを行わず数層に分け十分につき固めて施工しなければならない。

工事終了後に崩落、陥没のないよう施工すること。特に、道路側については十分突き固めること。

5. 用排水路で、既製品延長の関係で短区間の取り付けが必要な場合は、監督職員の承認を受け、現場打で施工取り付けして差し支えない。

(ii) 使用材料

(1) 資料の提出について

鳥取県土木工事共通仕様書第2編に基づき、請負者には、特別仕様書及び監督員の指示する工事材料については、使用前に見本又は資料を提出し承諾を得なければならない。

- ア) 日本工業規格(JIS)の表示許可材料を使用する場合、請負者は「工業材料使用届(様式-1)」を提出し監督員の承諾を得るものとする。
- イ) 日本工業規格(JIS)の表示許可材料以外の特殊材料を使用する場合、「工事材料使用承諾書(様式-2)」及び「使用材料一覧表(様式-3)」を提出し監督員の承諾を得るものとする。
- ウ) 発注者が適当と認めた生コンクリートについては、承認資料添付のうえ、使用届を提出するものとする。

- (2) 使用材料の数量規格は、数量表の通りである。

- (3) 原則としてレディミクストコンクリート(生コンJIS A5308)を使用するものとする。セメントは普通ポルトランドセメント(JIS R5210)またはB種高炉セメント(JIS R5211)を使用する。

混和材料及びAE剤については必要に応じて監督員が指示するものとする。

名 称	スランプ	粗骨材最大寸法	使 用 箇 所
= 18N/mm ²	8.0cm	40mm	無筋コンクリート

コンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下無筋コンクリートについては60%以下とする。

上記以外の生コンを使用する場合は、骨材及びセメント試験成績表を添付した配合計書を提出して、承認を受けなくてはならない。この場合、監督員が必要と認めたときは試験練を行うこと。

(4) モルタルの配合は、下表のとおり。

名 称	モルタル 1 m ³ 当り		使 用 箇 所
	セメント	砂	
1 : 2	720 kg	0.95m ³	フリューム、管、接合
1 : 3	530 kg	1.05m ³	敷モルタル

(5) 基礎に使用する切込み砕石は、RC-40を使用する。

9) 舗装工

(i) 施工要点

1. プライムコート

アスファルト舗装、路盤施工後、よく清掃し 100m² 当たりアスファルト乳剤 PK-3 を 126 リットル/100m² 以上均等に散布すること。

2. タックコート

アスファルト舗装、現況アスファルト舗装をよく清掃し 100m² 当たりアスファルト乳剤 PK-4 を 43 リットル/100m² 以上均等に散布すること。

3. 表層工

- (1) アスファルト舗装の場合舗装締め固めは、基準密度の 94%以上、歩道部においては 89%以上とする。
- (2) 材料の敷均しは、現場に適合した方法(人力、アスファルトフィニッシャー等)で行い、所定の仕上げ厚が確保出来るようにしなければならない。
- (3) 転厚は、所定の密度になるよう、入念に転厚しなければならない。

4. 道路区分

復旧する舗装構成は、設計図書による。

5. 再生加熱アスファルト混合物の使用に関する特記仕様書

- (1) 請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。なお、使用に際し、監督員及び再資源施設側(再生加熱アスファルト混合物を製造する施設)と十分協議すること。

資材名	規格	使用箇所	備考
再生加熱アスファルト混合物	As量5～8% 骨材最大粒径13～20mm	道路舗装	As5～7%密粒As

- (2) 再生加熱アスファルト混合物の品質基準は、鳥取県土木工事共通仕様書、プラント再生舗装技術指針等に適合するものとし、使用に先立ち「再生資源利用計画(実績)書」を提出し、工事終了後その実績を記入し提出すること。
- (3) 再生骨材の混入率は 10～40%を標準とし、配合設計書を提出し、監督員の承認を得ること。ただし、再生改質 I 型アスファルト混合物は 20%以下を標準とする。
- (4) 工事発注後、再生資材の品質及び供給が得られない等やむを得ない事情により上記の指定により難い場合は別途協議すること。

6. 路盤工

- (1) 路盤工の 1 層当たり厚さは、仕上げ厚 15cm 以下とする。

- (2) 材料の敷均しは、締め固め効果を考慮し、所定の仕上げ厚が確保出来るよう一様に敷均し

を行う。

(3) 転圧は、基準に適合するよう、入念に締め固めを行わなければならない。

(4) 路盤の材料及び締め固めの基準は次による。

区 分	材 料	締 め 固 め の 規 定
路 盤	切込碎石	密度は、JISA1214の方法で最大乾燥密度の93%以上とする。

10) 残土処分等

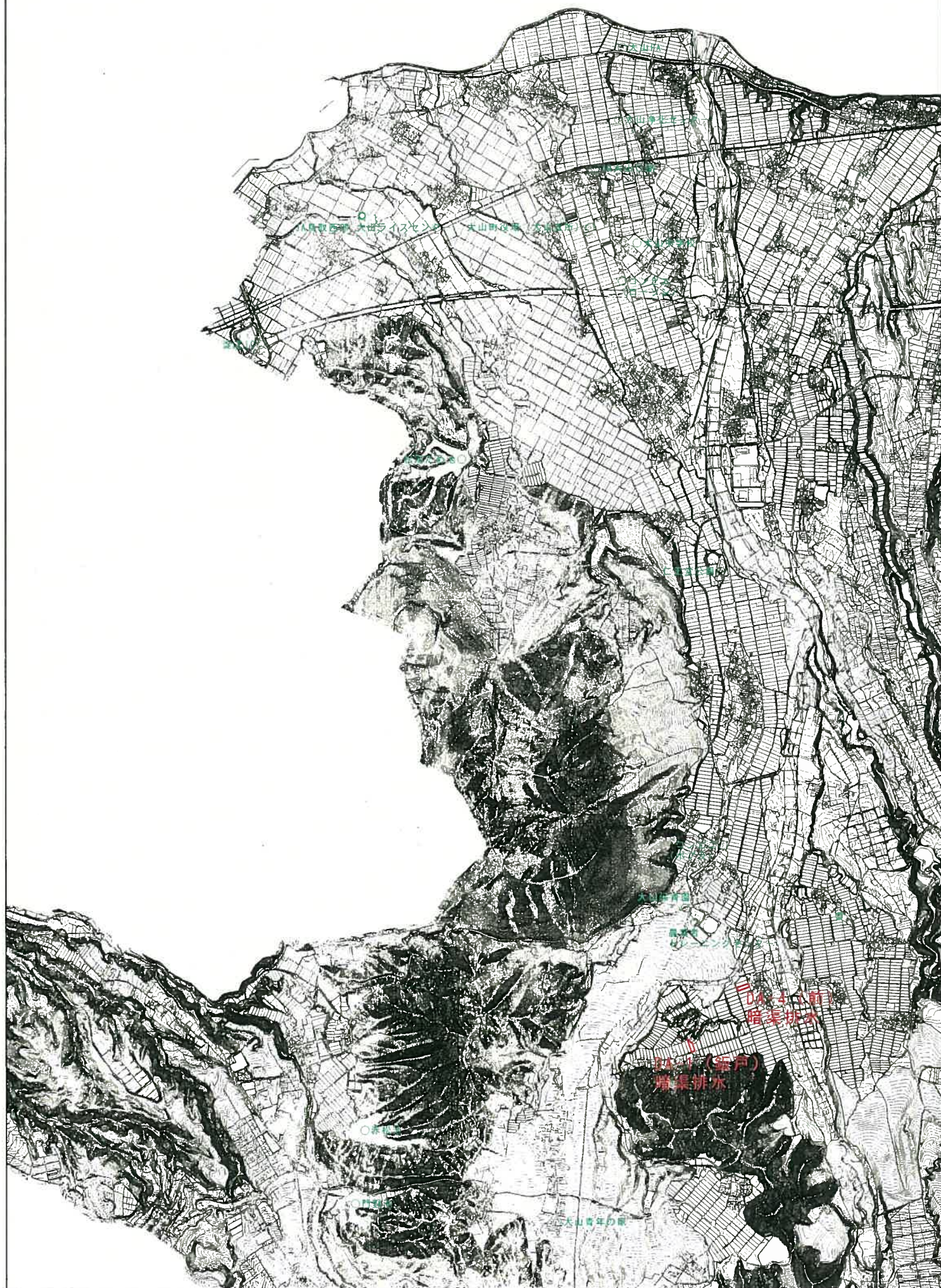
(i) 掘削により発生する土砂は、(有)小倉興産(米子市尾高 2583、2584、2585-1)に搬入する。

(ii) コンクリート及びアスファルト塊は、(株)大協組(米子市淀江町稲吉字久坂平 997)に搬入する。

(iii) 廃棄ゴムは、(有)山陰クリエイト(米子市和田町西美保 2080-3)に搬入する。

別紙

[illegible]



現場説明書

1

令和6年7月15日以降調達公告適用

工程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 【治山工事、林道工事】 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領（令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。 【港湾工事、漁港工事】 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。 【農業農村整備工事】 本工事は、鳥取県農業農村整備事業工事週休2日工事試行実施要領（令和6年5月8日付第202400036012号農林水産部農業振興局農地・水保全課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/301089.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立木の置き場所） 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>工事全体合計 <u> </u>人・日 交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>工事全体合計 <u> </u>人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知） （https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm）により適切に対応すること。 ①（他工事等流用） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ③（民間残土受入地） 建設発生土は、名和地区は大山町加茂地内の㈱赤松産業に運搬（運搬距離12.9km）し、大山地区は米子市尾高地内の(有)小倉興産に運搬（運搬距離10.9km）するものとする。なお、処理費として1m³当り1,730円を㈱赤松産業に、1m³当り1,700円を(有)小倉興産に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り <u> </u>円 アスファルト塊 1m³当り <u> </u>円 建設発生木材 1m³当り <u> </u>円 ②（他工事等流用） 〔Co雑割材・ 〕は、 市・町・村 地内 工事で使用するものとする。

建設副産物の使用

① (建設発生土の使用)

~~_____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。~~
~~なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書~~
~~(<https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm>) により適切に対応すること。~~

② (再生資材の使用)

~~ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。~~
~~イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。~~
~~ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~
~~エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~
~~オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~
~~カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~
~~キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。~~
~~ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。~~

工事用道路

① (農地の一時転用について)

~~本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。~~

~~【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】~~

~~受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。~~

② (農地の賃貸借)

~~ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。~~
~~イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。~~
~~ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。~~
~~エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。~~
~~オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。~~

その他

① (自社施工)

~~本工事においては、(※) _____工 (_____工を除く) のうち少なくとも _____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。~~
~~※該当する細別(レベル4)を記載する。~~

② (工事名称)

~~工事標示板に記載する名称は、しっかり守る農林基盤交付金事業(大山1工区)工事 とする。~~
~~なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。~~

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。
 イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
 ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事
 イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）
 ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事
 エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）
 オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
 重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
 ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。
 電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。
 オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

予定価格4千万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 予定価格4千万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

そ
の
他

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
 通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕
 イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
 本工事の（ ）工で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格（ ）t吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価（ ）月号、（ ）頁）を採用し、本工事の（ ）工で使用を想定している高所作業車（規格（ ））の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価（ ）月号、（ ）頁）を採用している。

⑫（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。
 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。
 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭（現場管理費補正）

【~~治山工事、林道工事以外~~】（該当しない場合は削除）

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知）の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

【~~治山工事、林道工事~~】（該当しない場合は削除）

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知）の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

⑮（日本芝生産地への配慮）

日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア ~~「張芝工・筋芝工」は、日本芝の「野芝・高麗芝」を使用すること。~~

イ ~~「植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工」に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

ウ ~~「わら芝工・植生シート工・植生マット工」に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1㎡当たり 〇〇円を見込んでいる。~~

⑯（ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)]）

【~~農業農村整備工事以外~~】（該当しない場合は削除）

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

【~~農業農村整備工事~~】（該当しない場合は削除）

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「鳥取県農林水産部ICT活用工事実施要領」によること。

実施要領の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/301989.htm>を参照すること。

⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱（標示板の設置）

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にすること。

⑲（CCUS活用推奨工事[受注者希望型]）

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事（受注者希望型）特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳（遠隔臨場）

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑（施工管理システム）

本工事は、施工管理システムの利用可能工事（試行）である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

㉒（申請者との完成確認）

本工事完成後は必ず申請者又は申請者代理人等と現地確認をして、工事完成の承諾を得ること。

その他

※ 明示する項目を 〇〇 部分に記入または追記し、不要部分は「－」で削除して使用すること。



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

しっかり守る農村基盤交付金事業

しっかり守る農村基盤交付金事業（大山1工区）工事

金抜き設計書

（当初）

大山町

UN70000

UN70000

UN70000

UN70000

UN70000

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費(仮設工を除く)					
・直接工事費					
・・大山1工区	1.000	式			
・・・DA-1飯戸(暗渠排水)	1.000	式			1 式当たり
表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去	1.000	式			
	3.240	a			歩A・単A T単 1号
暗渠排水工(DA-1) 焼締管φ75、(掘削深H=0.69)、小運搬D=100未満	18.000	m			歩A・単A T単 7号
止蓋(陶管) φ75	3.000	枚			歩A・単A
T管(陶管) φ75	3.000	個			歩A・単A
合 計					
・・・DA-4前(暗渠排水)					1 式当たり
表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去	1.000	式			
	3.300	a			歩A・単A T単 1号
暗渠排水工(DA-4) 焼締管φ75、(掘削深H=0.66)、小運搬D=50以下	90.000	m			歩A・単A T単 8号
排水管工(DA-4) 塩ビ管φ75、(掘削深H=0.75)、小運搬D=50以下	20.000	m			歩A・単A T単 9号
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -	1.000	m3			歩A・単A S単 17号
吐出管工					歩A・単A T単 2号
	3.800	m			
吐出管土工 埋戻					歩A・単A T単 3号
	0.980	m3			
人力床均し 土砂	0.570	m ²			歩A・単A S単 22号
止蓋(陶管) φ75	3.000	枚			歩A・単A
両ソケット(陶管) φ75	5.000	個			歩A・単A
T管(陶管) φ75	2.000	個			歩A・単A
L管90°(陶管) φ75	1.000	個			歩A・単A
水閘 水平式φ75	1.000	箇所			歩A・単A T単 5号
合 計					
・・大山1工区(名和)					
・・・NA-1富永(暗渠排水)	1.000	式			
R7年度	1.000	式			1 式当たり
表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去					歩A・単A T単 1号
	4.386	a			
暗渠排水工(NA-1) 焼締管φ75、(掘削深H=0.67)、小運搬D=50以下	30.000	m			歩A・単A T単 10号
排水管工(NA-1) 塩ビ管φ75、(掘削深H=0.84)、小運搬D=100以下	102.000	m			歩A・単A T単 11号
湧水処理工(NA-1) 焼締管φ75、(掘削深H=0.63)、小運搬D=	14.200	m			歩A・単A T単 12号
畦畔工(NA-1)					歩A・単A T単 13号
	14.200	m			
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -	1.940	m3			歩A・単A S単 17号
吐出管工					歩A・単A T単 2号
	4.800	m			
吐出管土工 埋戻					歩A・単A T単 3号
	1.920	m3			
人力床均し 土砂	0.720	m ²			歩A・単A S単 22号
止蓋(陶管) φ75	2.000	枚			歩A・単A
両ソケット(陶管) φ75	1.000	個			歩A・単A
T管(陶管) φ75	1.000	個			歩A・単A
水閘 水平式φ75	1.000	箇所			歩A・単A T単 5号
削孔φ100					歩A・単A T単 4号
	1.000	箇所			
合 計					

UN70000

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業 (大山1工区) 工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,締固めを計上しない		m3			歩A・単A
	*** S単 - 2号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()		m3			歩A・単A
	*** S単 - 3号 *** 盛土					
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,盛土,まき出し,締固めを計上しない		m3			歩A・単A
	*** S単 - 4号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満		m3			歩A・単A
	*** S単 - 5号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m		m3			歩A・単A
	*** S単 - 6号 *** 残土処分費					
	残土処分費 小倉興産		m3			歩A・単A
	*** S単 - 7号 *** 残土処分費					
	残土処分費 赤松産業		m3			歩A・単A
	*** S単 - 8号 *** 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,75mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m			歩A・単A
	*** S単 - 9号 *** 暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-型 油圧ダンプ 2.0t,50mを超え100m以下,あり		ton			歩A・単A
	*** S単 - 10号 *** 暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり		ton			歩A・単A
	*** S単 - 11号 *** 暗渠排水工(小運搬(被覆材))					
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石,不整地運搬車加-型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下		m3			歩A・単A
	*** S単 - 12号 *** 暗渠排水工(バックホウ掘削)					
	暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管,φ75mm		m			歩A・単A
	*** S単 - 13号 *** トラック[クレーン装置付]					
	トラック[クレーン装置付] ヘビーストラック4~4.5t積 2.0t吊,,運転1時間当たり算出		時間			歩A・単A
	*** S単 - 14号 *** SP 掘削					
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -,標準, -, -, -		m3			歩A・単A
	*** S単 - 15号 *** SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)		m3			歩A・単A
	*** S単 - 16号 *** 埋め戻し					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)		m3			歩A・単A
	*** S単 - 17号 *** SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模), -, -		m3			歩A・単A
	*** S単 - 18号 *** SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 小規模,ヘビーストラック積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,19.0km以下		m3			歩A・単A
	*** S単 - 19号 *** SP 法面整形					
	SP 法面整形 盛土部,有り,有り,砂及び砂質土・粘性土		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 20号 *** SP 暗渠排水管					
	SP 暗渠排水管 据付,直管,50~150mm, -		m			歩A・単A
	*** S単 - 21号 *** モルタル現場練合わせ					
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2		m3			歩A・単A

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,締固めを計上しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分	粘性土・礫質土		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)作業区分	埋戻		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	はね付け+まき出し		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)締固め区分	締固めを計上しない		夜間制約作業時間:0.0		
	普通作業員	1.330	人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 2号 ***					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分	粘性土・礫質土		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)作業区分	埋戻		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	はね付け+まき出し		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)締固め区分	タンバ()		夜間制約作業時間:0.0		
	特殊作業員	0.340	人			
	普通作業員	1.330	人			
	諸雑費 10%	0.100				
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 3号 ***					
	盛土		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,盛土,まき出し,締固めを計上しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分	砂・砂質土		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)作業区分	盛土		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	まき出し		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)締固め区分	締固めを計上しない		夜間制約作業時間:0.0		
	普通作業員	0.680	人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 4号 ***					
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)運搬距離区分	100m未満		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
				夜間制約作業時間:0.0		
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式] 加-ラ型油圧ダンプ4.0ton	1.570	供用日			
	軽油					
	バッド給油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 65.100 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 5号 ***					
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業 (大山1工区) 工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1) 材料 2) 運搬距離区分	砂・砂利・栗石 30～50m		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式] 加-ラ型油圧ダンプ 4.0ton	1.570	供用日			
	軽油 バレル給油	65.000	L			
	運転手 (特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 71.100 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 6号 ***					
	残土処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	残土処分費 小倉興産			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	小倉興産		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	残土処分費 小倉興産	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 7号 ***					
	残土処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	残土処分費 赤松産業			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	赤松産業		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	残土処分費 赤松産業	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 8号 ***					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU, 75mm, 直管 (両差し口), 4.0m管, 0箇所			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 管種区分 2) 管径区分 (mm) 3) 形状区分 4) 管長区分 5) 接合箇所	VU 75mm 直管 (両差し口) 4.0m管 0箇所		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管VU 径75 長4.0m	2.440	本			
	雑材料費	0.020				
	土木一般世話役	0.080	人			
	特殊作業員	0.120	人			
	普通作業員	0.170	人			
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** S 単 - 9号 ***					
	暗渠排水工 (小運搬 (土管・陶管))		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工 (小運搬 (土管・陶管)) 土管・陶管, 不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t, 50mを超え100m以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	,あり			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	1)材料区分 2)機械区分	土管・陶管 不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)運搬距離区分 4)長期割引単価区分(賃料機械)	50mを超え100m以下				
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式・排対型(～2次)] 積載質量 2.0t	1.550	日			
	軽油 バッド給油	14.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	普通作業員 積卸し	0.360	人			
	合 計					算出数量 6.600 ton
	単 価		ton			
	*** S単 - 10号 ***					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管、不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0	
	1)材料区分 2)機械区分	土管・陶管 不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	3)運搬距離区分 4)長期割引単価区分(賃料機械)	50m以下		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式・排対型(～2次)] 積載質量 2.0t	1.550	日			
	軽油 バッド給油	14.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	普通作業員 積卸し	0.390	人			
	合 計					算出数量 7.200 ton
	単 価		ton			
	*** S単 - 11号 ***					
	暗渠排水工(小運搬(被覆材))		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石、不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0	
	1)材料区分 2)機械区分	砕石 不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	3)運搬距離区分	50mを超え100m以下		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式] 3.0t積	1.550	供用日			
	軽油 バッド給油	20.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	合 計					算出数量 32.900 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 12号 ***					
	暗渠排水工(バックホウ掘削)		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管,φ75mm			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:1.0% 基本給時間:8.0	
	1)掘削深(m) 2)排水管の種類 3)口径区分(mm)	0.5 h 0.7m 土管・陶管 φ75mm		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	バックホウ[加-ラ型・排対型(2次)] 標準バックホウ容量 山積0.28m3(平積0.2m3)	1.660	供用日			
	軽油 バッド給油	34.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	土木一般世話役	0.400	人			
	特殊作業員	0.400	人			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業 (大山1工区) 工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	普通作業員	1.000	人			
	普通作業員	1.000	人			
	合 計					算出数量 111.000 m
	単 価		m			
	*** S単 - 13号 ***					
	トラック[クレーン装置付]		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.0t吊,, 運転 1 時間当たり算出			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	豪雪補正: 1 0 % 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 機械コード 単位が時間のみ 2) 機械コード (同上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	3) 機械損料算出区分 4) 運転 1 日当たり運転時間(T)	運転 1 時間当たり算出 5.8時間				
	5) 運転日に対する供用日の割合(YC)	1.23				
	6) 単価計上区分					
	7) 岩石補正区分	岩石補正なし				
	8) 燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	9) 燃料区分	軽油				
	10) 燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11) 消耗部品の計上の有無 13) 消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14) 名称(消耗部品) 15) 規格(消耗部品)	- -				
	トラック[クレーン装置付] ﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.0t吊	1.000	時間			
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	5.300	L			
	運転手 (特殊)	0.170	人			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位			
	単位					
	*** S単 - 14号 ***					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂, 上記以外(小規模), 標準, 標準			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	豪雪補正: 1 0 % 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 土質 2) 施工方法 3) 押土の有無 4) 障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	5) 施工数量 6) 火薬使用	標準 -				
	7) 破砕片除去の有無 8) 集積押土の有無	- -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 15号 ***					
	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂, 小規模(標準)			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	豪雪補正: 1 0 % 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 土質 2) 作業内容	土砂 小規模(標準)				
	単 価		m3			
	*** S単 - 16号 ***					
	埋め戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準)				
	単 価		m3			
	*** S単 - 17号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 18号 ***					
	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾙ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,19.0km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾙ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 19.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 19号 ***					
	SP 法面整形		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部,有り,有り,砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	盛土部 有り 有り 砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 20号 ***					
	SP 暗渠排水管		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 暗渠排水管 据付,直管,50～150mm,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)管種別 3)呼び径 4)継手材料費	据付 直管 50～150mm -				
	単 価		m			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区) 工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 21号 ***					
	モルタル現場練合わせ		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)材料区分	洗砂(細目)		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)配合比区分	1:2		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	高炉セメント B種 25kg入	0.580	ton			
	洗砂					
	洗砂(細目)	0.680	m3			
	混和剤					計上無し
	防水剤 マノール相当	0.000	kg			
	普通作業員					
		0.970	人			
	諸雑費 9%	0.090				
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 22号 ***					
	人力床均し		m ²		10.000 m ²	歩A 当たり算出
	人力床均し 土砂			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分	土砂		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				公社割引補正:なし	週休:補正なし	
				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	普通作業員			夜間制約作業時間:0.0		
		0.120	人			
	合 計					算出数量 10.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 23号 ***					
	人力石礫除去工		a		10.000 a	歩A 当たり算出
	人力石礫除去工 1m3/10a未満m3/10a,あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)10a当たり除去量(m3/10a未満)	1m3/10a未満m3/10a		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)長期割引単価区分(賃料機械)			公社割引補正:なし	週休:補正なし	
				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
				夜間制約作業時間:0.0		
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式・排対型(～2次)] 積載質量 2.0t	0.040	日			
	軽油					
	バッド給油	0.360	L			
	運転手(特殊)					
	不整地運搬車運転	0.020	人			
	普通作業員					
		0.260	人			
	合 計					算出数量 10.000 a
	単 価		a			
	*** S 単 - 24号 ***					
	田面砕土(ロータリ)		a		1.000 ha	歩A 当たり算出
	田面砕土(ロータリ) 田面砕土,良好,25m,100m,1回掛,乾燥,粘性土,0～4° 未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)施工区分	田面砕土		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)作業条件	良好		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)ほ場の短辺の長さ(a)	25.000m		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)ほ場の長辺の長さ(b)	100.000m		夜間制約作業時間:0.0		
	5)掛回数	1回掛				
	6)土の状態	乾燥				
	7)土質区分	粘性土				
	8)傾斜区分	0～4° 未満				
	ロータリ-[直装式] 作業幅 1.6～1.8m級	6.700	時間			
	農用トラクタ[乗用・ホイ-ル型] 四輪駆動 30～44kw級(40～60PS)	6.700	時間			

UN70000

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** 丁単 - 1号 ***					
	表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去		a		1.000 a	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),標準,標準	15.000	m3			S単 14号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	15.000	m3			S単 15号
	田面砕土(ロータリ) 田面砕土,良好,25m,100m,1回掛,乾燥,粘性土,0~4° 未満	1.000	a			S単 24号
	人力石礫除去工 1m3/10a未満m3/10a,あり	1.000	a			S単 23号
	合 計					算出数量 1.000 a
	単 価		a			
	*** 丁単 - 2号 ***					
	吐出管工		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,75mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	1.000	m			S単 8号
	合 計					算出数量 1.000 m
	単 価		m			
	*** 丁単 - 3号 ***					
	吐出管土工		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	埋戻 人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()	1.000	m3			S単 2号
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** 丁単 - 4号 ***					
	削孔φ100		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	マンホール削孔塩ビ用 0号 φ100	1.000	箇所			
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** 丁単 - 5号 ***					
	水閘		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	水平式φ75 水平水閘 φ75	1.000	個			
	焼きしめ土管(直管) 内径 150mm × 管長 600mm	1.000	本			
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2	0.002	m3			S単 21号
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** 丁単 - 6号 ***					
	機械回送費		現場		1.000 現場	歩A 当たり算出

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	トラク[クレーン装置付] A' -ストラク4~4.5t積 2.0t吊,, 運転 1 時間当たり算出	1.000	時間			S 単 13号 算出数量 1.000 現場
	合 計					
	単 価		現場			
	*** 丁単 - 7号 ***					
	暗渠排水工 (DA-1)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	焼締管φ75、(掘削深H=0.69)、小運搬D=100未満 暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管、φ75mm	10.000	m			S 単 12号
	焼きしめ土管(直管) 内径 75mm × 管長 600mm	16.667	本			
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管、不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50mを超え100m以下,あり	0.067	ton			S 単 9号
	単粒度砕石 3号 40~30mm	0.998	m3			
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石、不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下	0.998	m3			S 単 11号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	1.020	m3			S 単 4号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.020	m3			S 単 15号
	SP 土砂等運搬 小規模,ハ' ック約山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,19.0 km以下	1.020	m3			S 単 18号
	残土処分費 小倉興産	1.020	m3			S 単 6号 算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** 丁単 - 8号 ***					
	暗渠排水工 (DA-4)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	焼締管φ75、(掘削深H=0.66)、小運搬D=50以下 暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管、φ75mm	10.000	m			S 単 12号
	焼きしめ土管(直管) 内径 75mm × 管長 600mm	16.667	本			
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管、不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり	0.067	ton			S 単 10号
	単粒度砕石 3号 40~30mm	1.187	m3			
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石、不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下	1.187	m3			S 単 11号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m	1.210	m3			S 単 5号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.210	m3			S 単 15号
	SP 土砂等運搬 小規模,ハ' ック約山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,19.0 km以下	1.210	m3			S 単 18号
	残土処分費 小倉興産	1.210	m3			S 単 6号 算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** 丁単 - 9号 ***					
	排水管工 (DA-4)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	塩ビ管φ75、(掘削深H=0.75)、小運搬D=50以下 SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -	2.810	m3			S 単 17号
	SP 暗渠排水管 据付,直管,50~150mm, -	10.000	m			S 単 20号
	硬質ポリ塩化ビニル管 接着受口付直管 TS片スリ-フ 薄肉管VU 径75 長4.0m	4.000	本			
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,締固めを計上しない	0.580	m3			S 単 1号

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(大山1工区)工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	埋め戻し 土砂,小規模(標準)	2.170	m3			S 単 16号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30～50m	0.060	m3			S 単 5号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	0.060	m3			S 単 15号
	SP 土砂等運搬 小規模,ハック山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,19.0 km以下	0.060	m3			S 単 18号
	残土処分費 小倉興産	0.060	m3			S 単 6号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T 単 - 10号 ***					
	暗渠排水工 (NA-1)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	焼締管φ75、(掘削深H=0.67)、小運搬D=50以下 暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管,φ75mm	10.000	m			S 単 12号
	焼きしめ土管(直管) 内径 75mm × 管長 600mm	16.667	本			
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり	0.067	ton			S 単 10号
	単粒度碎石 3号 40～30mm	1.229	m3			
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 碎石,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下	1.229	m3			S 単 11号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30～50m	1.050	m3			S 単 5号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.050	m3			S 単 15号
	SP 土砂等運搬 小規模,ハック山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,19.0 km以下	1.050	m3			S 単 18号
	残土処分費 赤松産業	1.050	m3			S 単 7号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T 単 - 11号 ***					
	排水管工 (NA-1)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	塩ビ管φ75、(掘削深H=0.84)、小運搬D=100以下 SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -	3.230	m3			S 単 17号
	SP 暗渠排水管 据付,直管,50～150mm,-	10.000	m			S 単 20号
	硬質ポリ塩化ビニル管 接着受口付直管 TS片XU-7 薄肉管VU 径75 長4.0m	4.000	本			
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,締固めを計上しない	0.580	m3			S 単 1号
	埋め戻し 土砂,小規模(標準)	2.590	m3			S 単 16号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	0.060	m3			S 単 4号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	0.060	m3			S 単 15号
	SP 土砂等運搬 小規模,ハック山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,19.0 km以下	0.060	m3			S 単 18号
	残土処分費 赤松産業	0.060	m3			S 単 7号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T 単 - 12号 ***					
	湧水処理工 (NA-1)		m		10.000 m	歩A 当たり算出

UN70000

設 計 図 面
数 量 表

(大 山 1 工 区)

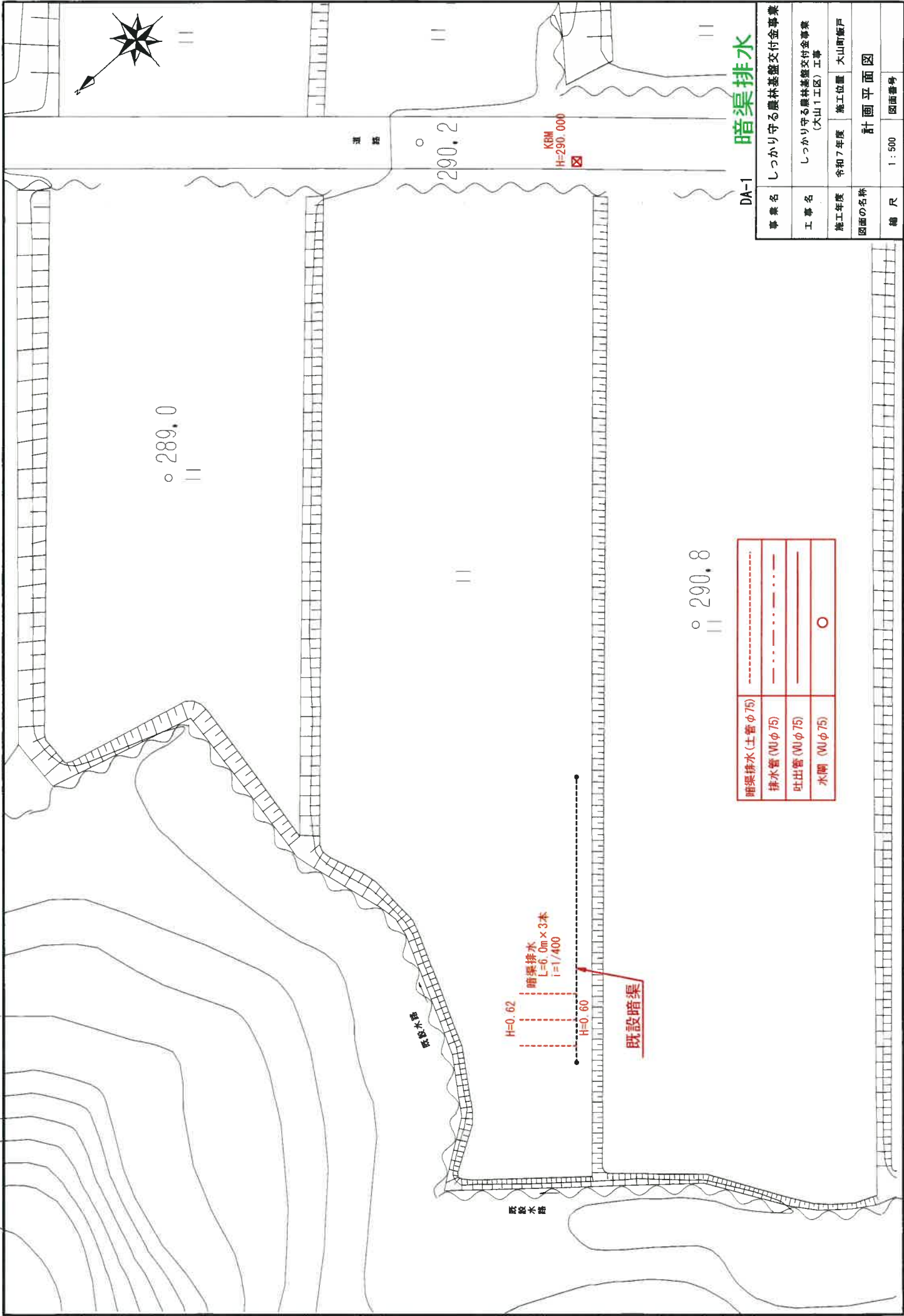
設 計 図 面
数 量 表

面

図

計

設



暗渠排水

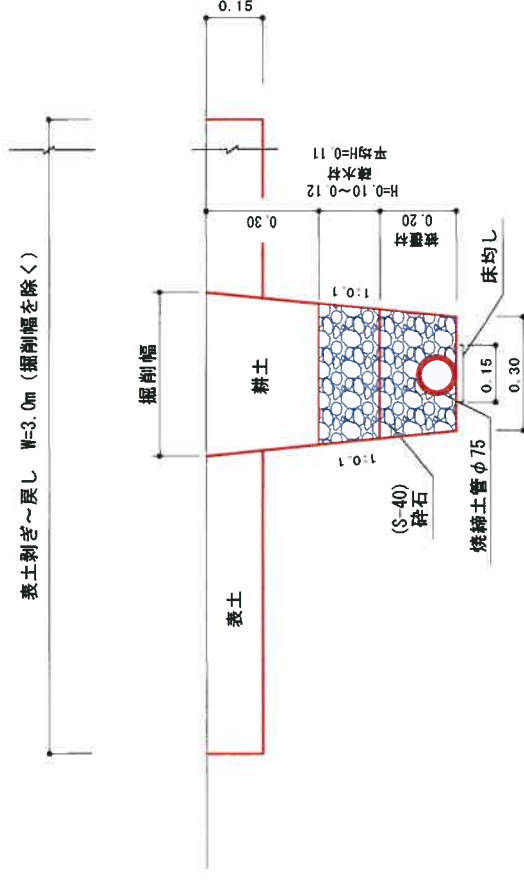
DA-1

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町飯戸
計画平面図			
縮尺	1:500	図面番号	

暗渠排水(土管φ75)	-----
排水管(Wφ75)	-----
吐出管(Wφ75)	-----
水閘(Wφ75)	○

断面图
暗渠排水

S=1:20



数量表			10.0mm以下	
名称	规格	单位	数量	平均重量 H=0.61
钢筋		m ³	2.20	
埋管	铸土	m ³	1.18	
被覆材	碎石S-40	m ³	0.56	
排水管	碎石S-40	m ³	0.39	
暗渠排水管	铸土管φ75	m	10.0	
床约し		m ²	1.50	

掘削: $\{(0.61 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.61\} \times 10.0 = 2.2021$

埋戻: $\{0.2221 - (0.31 * 0.2 + 0.6) / 2 * 0.31\} * 10.0 = 1.176$ 疎水材: $[(0.31 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.31 - (0.20 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.20] \times 10.0 = 0.3861$

DA-1 暗渠排水

事業名	しっかり守る豊林基盤交付金事業
工事名	しっかり守る豊林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事
施工年度	令和7年度
令和7年度 施工位置	大山町飯戸
図面の名称	断面図1
縮尺	1:20
	図面番号

表

量

数

暗渠土工種別計算表

[illegible]

設 計 図 面
数 量 表

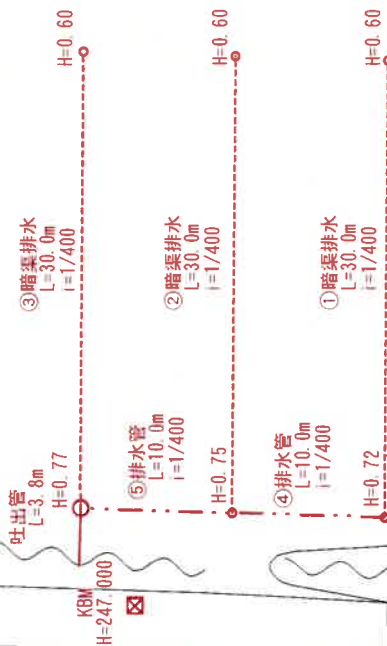
面

図

計

設

246.3



暗渠排水 (土管φ75)	-----
排水管 (Wφ75)	- - - - -
吐出管 (Wφ75)	_____
水閘 (Wφ75)	○

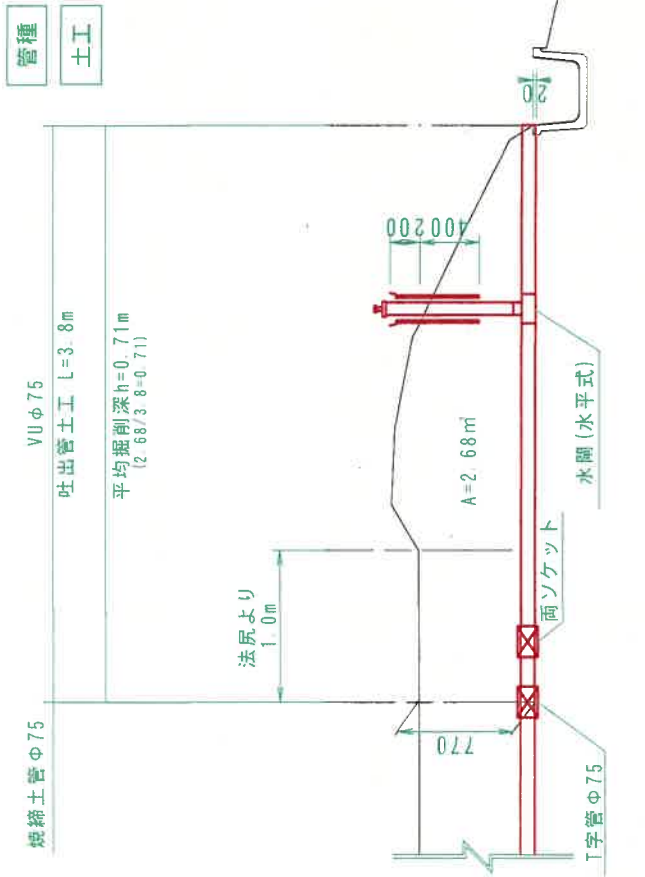
250.2

251.7

DA-4 暗渠排水

事業名	しかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町 前
図面の名称			
計画平面図			
縮尺	1:500	図面番号	

吐出管



DL=245.00

DA-4 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町 前
図面の名称 断面図			
縮尺	1:50	図面番号	

表

量

数

暗渠排水数量総括表

整理 番号	名称 (m)	施工 延長 (m)	暗渠排水管		表土剥ぎ～戻し		被覆材		砕石 (S-40) 断面 (m ²)	砕石 (S-40) 数量 (m ³)	湧水処理 埋設管の土管 φ75 (m)	暗渠排水 埋設管の土管 φ75 (m)	排水管 埋設管 (VU) φ75 (m)	吐出管 埋設管 (VU) φ75 (m)	管 類										備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			平均 掘削深 (m)	掘削 延長 (m)	幅 (m)	数量 (m ²)	砕石 (S-40) 断面 (m ²)	数量 (m ³)							L字管 (陶管) 45° φ75 (ヶ所)	エルボ (VU) 45° φ75 (ヶ所)	T字管 塩ビ管 φ75 (ヶ所)	T字管 陶管 φ75 (ヶ所)	マンホット φ75 (ヶ所)	止蓋 φ75 (ヶ所)	水平 水側 φ75 (ヶ所)	削孔 φ100 (ヶ所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
									管	管	管	管	管	管									管	管		管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管	管

暗 渠 土 工 種 別 計 算 表

整理番号	名称	延長	平均掘削深		土工型式				
		暗渠排水管	暗渠排水管		暗渠排水管	暗渠排水管	暗渠排水管	暗渠排水管	暗渠排水管
		m	m		H=0.50 m	H=0.60 m	H=0.70 m	H=0.80 m	H=0.90 m
1	φ75 暗渠排水	30.0	0.64	0.60		30.0			
2	φ75 暗渠排水	30.0	0.64	0.60		30.0			
3	φ75 暗渠排水	30.0	0.64	0.60		30.0			
4	φ75 暗渠排水	10.0	0.69	0.70			10.0		
		10.0	0.71	0.70			10.0		
計		110.0				90.0	20.0		

集 水 渠 土 工 種 別 計 算 表

[illegible]

吐出管加重均計算書

[illegible]

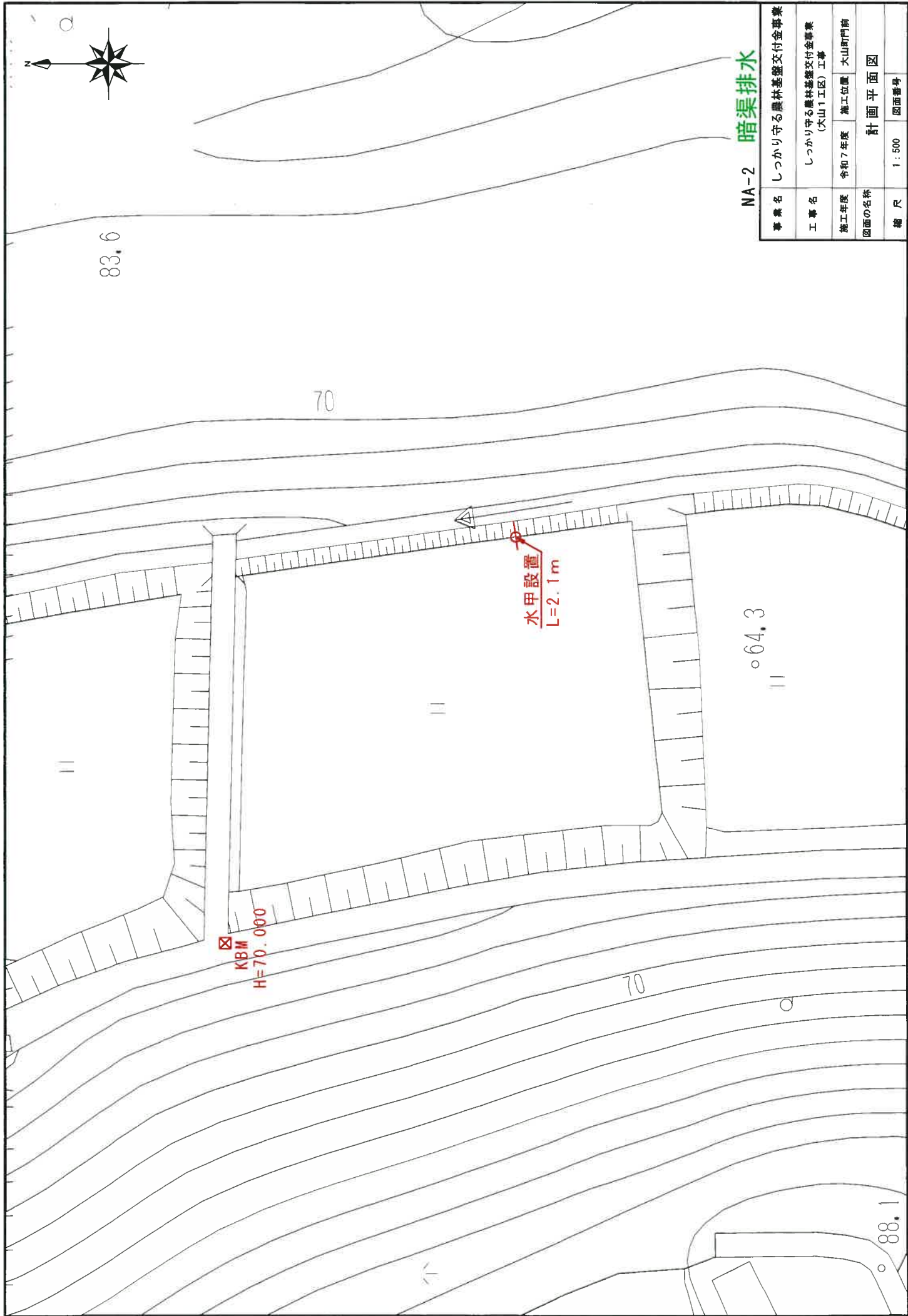
設 計 図 面
数 量 表

面

図

計

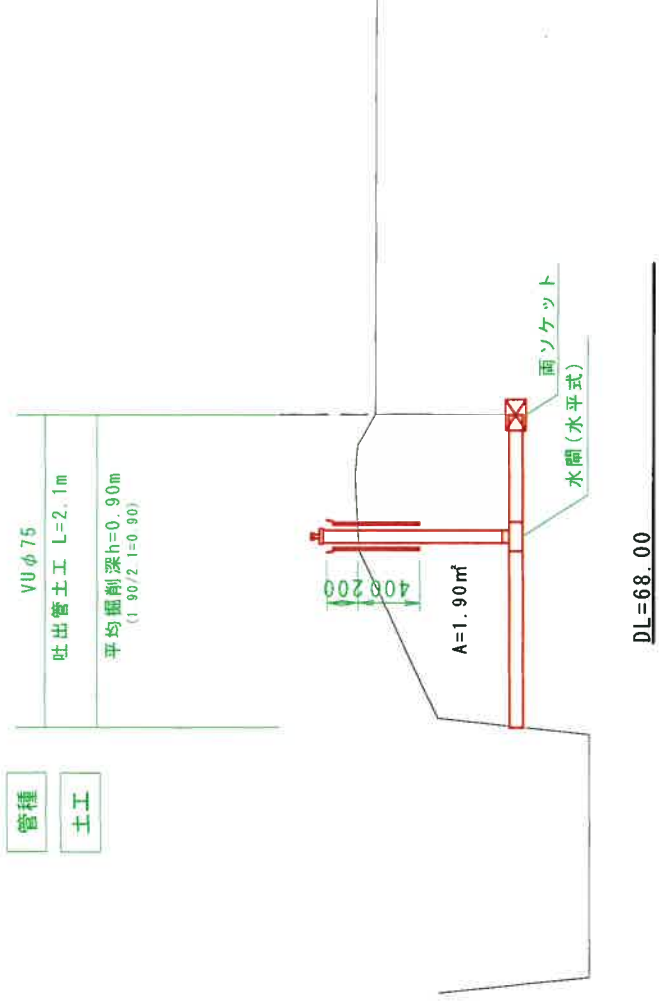
設



NA-2 暗渠排水

事業名	しつかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しつかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町門前	
図面の名称	計画平面図			
縮尺	1:500	図面番号		

吐出し口



※水閘の位置は地元に確認すること。

数量表				<1.0箇所当り>	
名称	規格	単位	数量		
水閘	水平式、φ75	個	1		
焼結土管	φ150、L=600	個	1		

NA-2 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業				
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事				
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町門前		
図面の名称	横断面図				
縮尺	1:50	図面番号			

表

量

数

吐出管加重均計算書

[illegible]

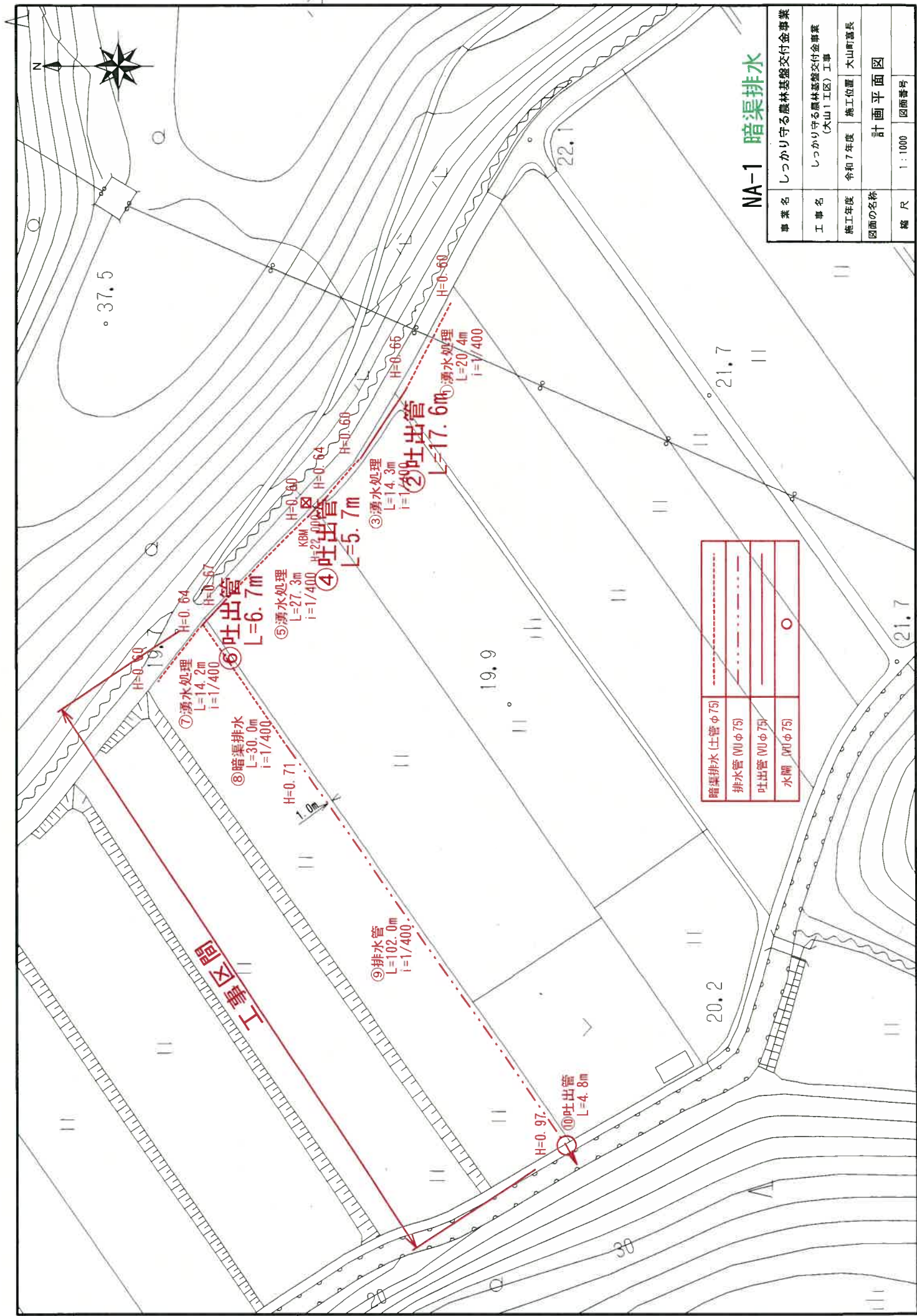
設 計 図 面
数 量 表

面

図

計

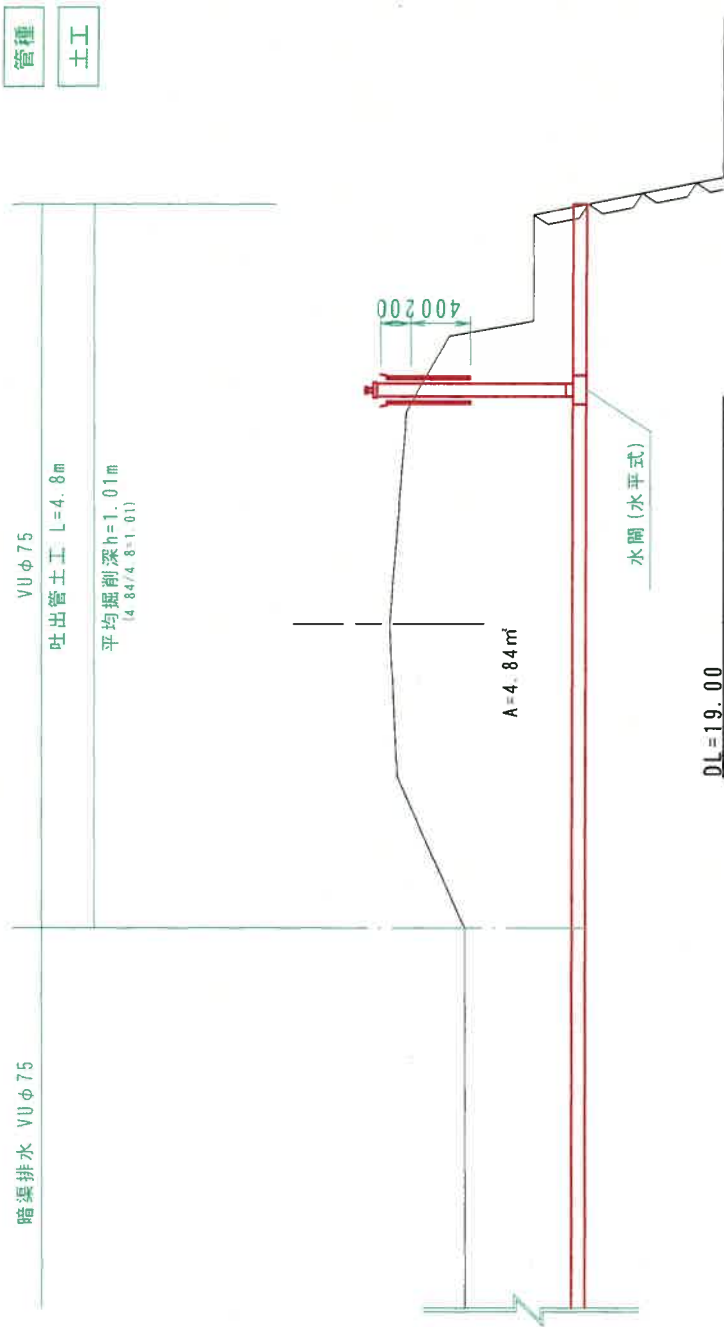
設



NA-1 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町富良	
図面の名称	計画平面図			
縮尺	1 : 1000		図面番号	

流末 吐出し口



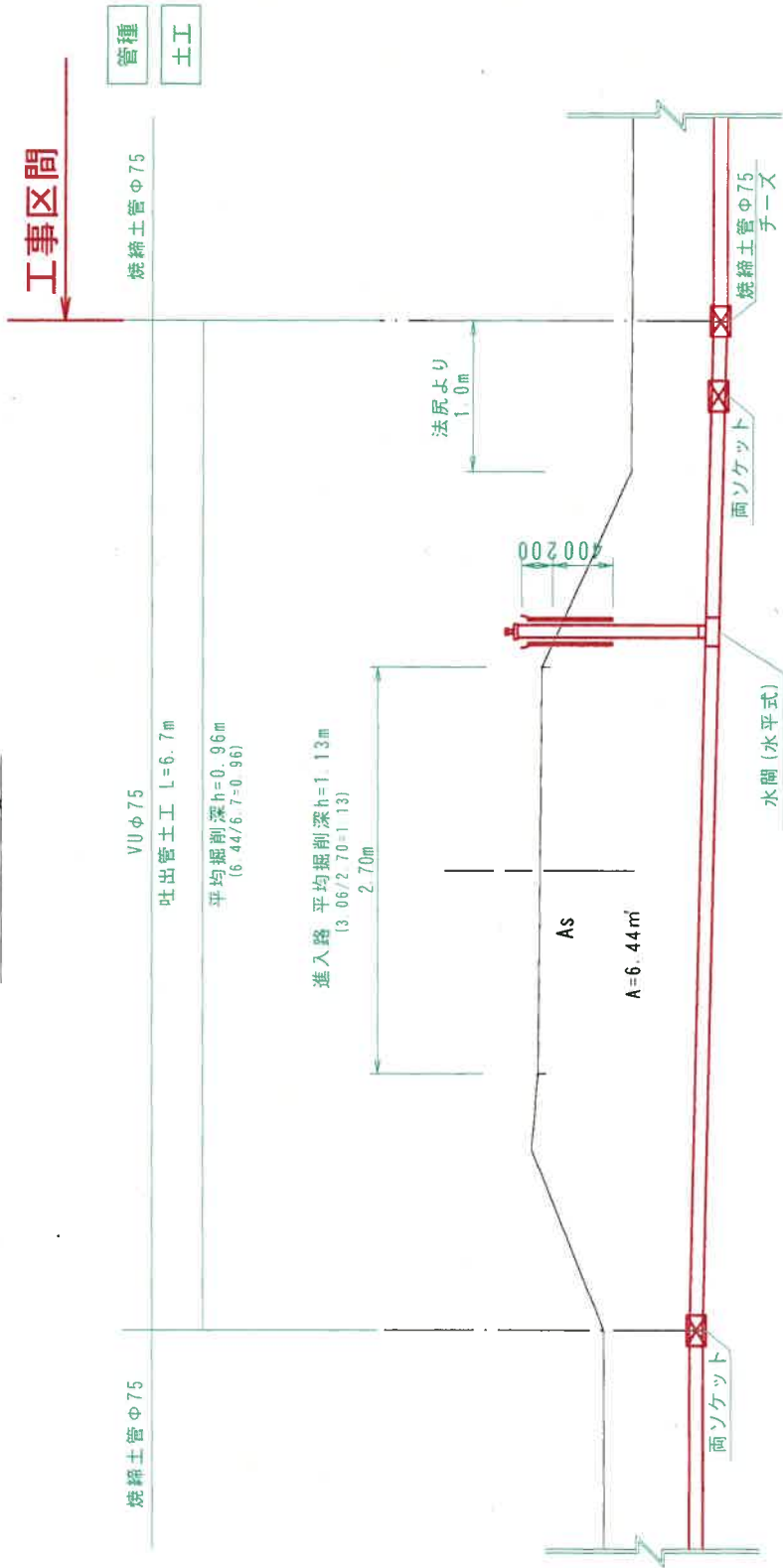
※水閘の位置は地元に確認すること。

数量表 <1.0箇所当り>			
名称	規格	単位	数量
水閘	水平式、φ75	個	1
縦断土管	φ150、L=600	個	1

NA-1 暗渠排水

事業名 しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町高良
図面の名称	流末 吐出し口		
縮尺	1:50	図面番号	

吐出し-⑥



DL=19.00

※水閘の位置は地元に確認すること。

NA-1 暗渠排水

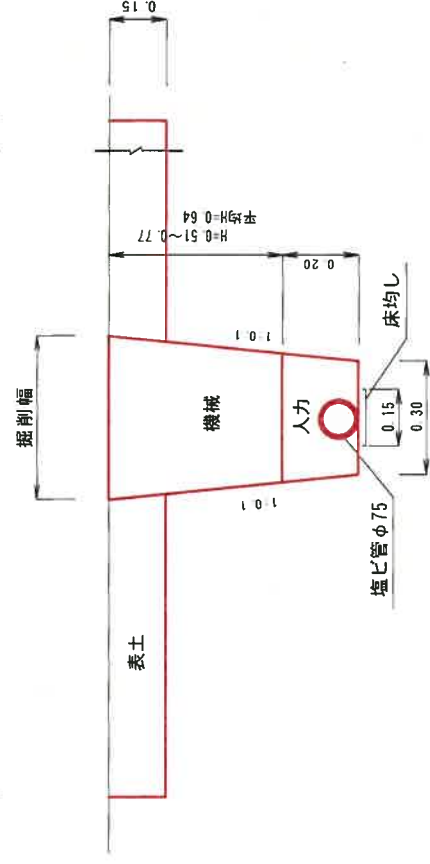
事業名 しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町富良
図面の名称	吐出し断面図		
縮尺	1:50	図面番号	

数量表		<10箇所当たり>	
数量	規格	単位	数量
水閘	水平式、 $\phi 75$	個	1
焼締土管	$\phi 150$ L=600	個	1

排水管断面图

$$S=1:20$$

表土剥ぎ～戻し W=3.0m (掘削幅を除く)



数 量 表			10.0m当り	
名 称	規 格	単 位	数 量	
掘 削		m ³	3.23	
埋 戻	人力	m ³	0.58	
埋 戻	機械	m ³	2.59	
排水管	塩ビ管φ75	m	10.0	
床均し		m ²	1.50	

掘削: $\{(0.30 \pm 2 + 0.20 + 0.84) / 2 \pm 0.84\} \times 10.0 \approx 3.2256$

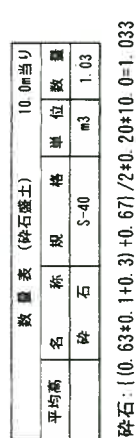
埋戻し: $\{0.30 \pm 0.20 \pm 0.20/2 - 0.089^2 \pm 3.14/4\} \pm 10.0 = 0.58$ 埋戻: $\{0.32256 - (0.30 \times 2 + 0.20 \times 0.20/2) \times 10.0 = 2.586$

事業名 しっかり守る農林基盤交付金事業

施工年度	令和 7 年度	施工位置	大山町富長
------	---------	------	-------

缩尺	1:20
图面番号	

S=1:20



数量表 (碎石盛土)				10.0m当り	
平均高	名称	规格	单位	数量	
	碎石	S-40	m ³	1.03	

碎石: $\{(0.63 \times 0.1 + 0.3) + 0.67\} / 2 \times 0.20 \times 10.0 = 1.033$

数量表 (畦畔工)			10.0m当り	
名称	规格	格	单位	数量
盛土			m ³	0.60
法面仕上			m	2.80

盛土: $(0.2+0.4)/2 \times 0.2 \times 10.0 = 0.60$

数 ■ 表 (湧水処理)			10.0m当り	
名 称	規 格	単 位	数 ■	平均高 H=0.63
堤 削		m ³	2.09	
被 覆 材	砕石S-40	m ³	0.54	
疎 水 材	砕石S-40	m ³	1.45	
湧水処理管	煉綽土管 φ 75	m	10.0	
床均し		m ²	1.50	

掘削: (0. 63*0. 1+0. 6) /2*0. 63*1*0. 0=2. 088
 浸水材: (0. 63*0. 1+0. 6) /2*0. 63-(0. 20*0. 1+0. 6) /2*0. 20*1*0. 0=1. 448
 被覆材: (0. 20*0. 1+0. 6) /2*0. 20-3. 14*0. 108. 2/4)*1*0. 0=0. 54

暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町富長
図面の名称	湧水処理 断面図		
縮尺	1:20	図面番号	

$$H=1:400$$


事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山1区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町富良
図面の名称	断面図		
縮尺	図示	図面番号	

表

量

数

暗渠土工種別計算表

[illegible]

集 水 渠 土 工 種 別 計 算 表

[illegible]

吐出管加重均計算書

[illegible]